



TITLE:

京都大学結核研究所年報(第 15 号 ・ 昭和 38 年度)

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学結核研究所年報(第 15 号・昭和 38 年度). 京都大學結核研究所
紀要 1964, 12(2)

ISSUE DATE:

1964-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51875>

RIGHT:

京 都 大 学

結 核 研 究 所 年 報

第 1 5 号

昭 和 3 8 年 度

1 9 6 4 年 3 月

京 都 大 学 結 核 研 究 所

京 都 大 学

結 核 研 究 所 年 報

第 15 号

昭 和 38 年 度

1963

京都大学結核研究所職員及準職員

所 長	教 授	内 藤 益 一	(京都大学結核研究所第3部内科学第1)
協議員	教 授	堀 井 五十雄	(京都大学医学部長, 解剖学教室)
"	教 授	三 宅 儀	(京都大学医学部附属病院長, 内科学教室第2講座)
"	教 授	荒 木 千 里	(京都大学医学部外科学教室第1講座)
"	教 授	植 田 三 郎	(京都大学結核研究所第7部細菌血清学)
"	教 授	前 川 孫二郎	(京都大学医学部内科学教室第3講座)
"	教 授	美濃口 玄	(京都大学医学部口腔外科学教室)
"	教 授	浅 山 亮 二	(京都大学医学部眼科学教室)
"	教 授	稲 田 務	(京都大学医学部泌尿器科学教室)
"	教 授	福 田 正	(京都大学医学部放射線医学教室)
"	教 授	掛 見 喜一郎	(京都大学医学部附属病院薬剤部長, 薬学部薬学科教室)
"	教 授	永 井 秀 夫	(京都大学医学部小児科学教室)
"	教 授	長 石 忠 三	(京都大学結核研究所第4部外科学)
"	教 授	村 上 仁	(京都大学医学部精神科学教室)
"	教 授	稲 本 晃	(京都大学医学部麻醉学教室)
"	教 授	辻 周 介	(京都大学結核研究所第2部内科学第2)
"	教 授	脇 坂 行 一	(京都大学医学部内科学教室第1講座)
"	教 授	高 松 英 雄	(京都大学結核研究所第6部病理学)
"	教 授	西 村 敏 雄	(京都大学医学部婦人科学教室)
"	教 授	太 藤 重 夫	(京都大学医学部皮膚病学・黴毒学教室)
"	教 授	木 村 忠 司	(京都大学医学部外科学教室第2講座)
"	教 授	伊 藤 鉄 夫	(京都大学医学部整形外科学教室)
"	教 授	岡 本 耕 造	(京都大学医学部病理学教室第2講座)
"	教 授	森 本 正 紀	(京都大学医学部耳鼻咽喉科学教室)

(第1部：小児科)

主任 教授(兼)：内藤益一, 助教授：小林 裕, 助手：(休)寺村文男・福田 潤, 副手：福井 齊・立石恭子

(第2部：内科学第2)

主任 教授：辻 周介, 助教授：安平公夫, 講師(非常勤)：西岡 諄, 助手 小原幸信・藤田 豊

副手：小松幹雄・上田千里・市田新路・田中久勝・浜本武夫・福岡謙助 大学院：大城盛夫

(第3部：内科学第1)

主任 教授：内藤益一，助教授：前川暢夫，講師(非常勤)：大井 豊，助手：吉田敏郎・津久間俊次，副手：中西通泰・松島留蔵・川合 満・清水 明・井本伍平・東向一郎・小沢 晃・蒲田迪子・池田宣昭・雑賀宣二郎，介補：柴田朝緒，大学院：久世文幸・田中健一・吉原宣方・中井準・岩井嘉一

(第4部：外科学)

主任 教授：長石忠三，助教授：寺松 孝，講師：佐川弥之助，講師(非常勤)：吉田 昇・長沢直幸・日下芳郎・小林君美・中村 健・(兼)渡辺 熙，助手：岡田慶夫，副手：山崎 昇・木下修二郎・大道重夫・立石昭三・久野健志・永井 彰・岩田 明・土肥佳郎・田中歳郎・池田貞雄・船津武志・人見滋樹・山本博昭・伊東政敏・甲斐隆義・北野司久・浅井信明・菅原精博・宮本信明・山本四郎・小野 孝・安田俊吉，大学院：加藤康夫・源河圭一郎・田苗英次，研修員：井上律子・金泰希・浜崎喜則・紺谷日出雄，研究員：金石河

(第5部：病態生理学)

主任 教授(兼)：辻 周介，助教授：大島駿作，講師(非常勤)：渡辺 熙・並河 靖・日置辰一郎，助手：岡田長保，副手：熊代朗子・浅田高明・小林辰雄・儀間義威・中島道郎，技官：木津 啓，大学院：泉 孝英

(第6部：病理学)

主任 教授：高松英雄，講師：水谷 昭，講師(非常勤)：峰下鎮雄，助手：大川欣一，副手：進藤備昌・富永敏郎・北村 彬・溝口喜久男・竹沢正和・永井隆男・岡田 彰・伊藤 満・池谷淳一・熊沢 清・池田 嵩・稲本康彦，技官：大槻 実，大学院：引間啓祐

(第7部：細菌血清学)

主任 教授：植田三郎，助教授：上坂一郎，助手：白石正雄・大岩弘治，副手：伊藤義昭・土井和雄・大平 実，技官：山岸悦子・山田愼一

(併 任)

教授 永 井 秀 夫 (京都大学医学部小児科学教室)
教授 福 田 正 (京都大学医学部放射線医学教室)
教授 西 尾 雅 七 (京都大学医学部公衆衛生学教室)

(事務局)

事務長：千種顕誠，庶務掛長：牧 義彦，同主任：木村斐夫，同事務官 近藤英子・小林和雄・堀田良恵，経理掛長：蔭山寅一，同主任：松本 正，同事務官 上地稔子，収入掛長：北川治康，同主任：中村陸太郎，同事務官：前田久男・中嶋婦ミ・白井キヌ・野田芳子・村上登美枝・岡野福子，患者掛長：鈴庄清二，同主任：中村彦次郎，同事務官：室恵美子

(診療部)

薬剤主任：小野木賢治，同事務官：宇野初枝，同技官：壺見浩子・八木充子，レントゲン室主任：浜川純一，同技官：蔵岡信良・大坂泰夫，同事務官：野元頼子，看護婦長：細川ミツエ・安井八重子・中根文子，主任看護婦：信重安子・西川澄子・大前久野，同技官：古府静江・岩永千代子・高市政子・北村トミ子・安部克己・近藤信子・山崎保子・田中松代子・松田比佐子・谷村明子・松本敏枝・星野好江・森田美代子・小林とよ・小林梅野・藤井千鶴子・竹崎浄子・植垣比沙子・法性イヨ・広橋俊子・松宮なを子・山田さだ子

業 績 目 録

第 1 部 小 児 科 (主任 教授 内藤益一)

〔学会発表並びに講演〕

- 1) 小林裕：学校検診におけるツベルクリン反応の再検討について，第11回京都市学校保健学会（38. 2. 25）
- 2) 小林裕，寺村文男，立石恭子，三河春樹，赤石強司，福田潤，横山達郎：BCG既接種群における然然陽転者の選出に関する研究，第66回日本小児科学会総会（38. 3. 30）
- 3) 小林裕，他：本邦における非定型抗酸菌感染の疫学的研究（第4報），第38回日本結核病学会総会（38. 4. 4）
- 4) 小林裕，富沢貞造，寺尾正，田中敏：新生児に対するBCG経口投与成績（第1報），第27回日本結核病学会近畿地方会（38. 6. 1）
- 5) 小林裕，福田潤，立石恭子，富沢貞造，寺尾正，田中敏：新生児，乳幼児に対するBCG経口投与成績（第1報），昭和38年度日本小児保健学会（38. 10. 20）
- 6) 小林裕：精製ツベルクリン PPD-S の使用について，京都大学結核研究所昭和38年度講演会（39. 1. 11）

〔雑誌発表〕

- 1) Y. Kobayashi, F. Teramura, H. Fukuda, K. Tateishi, H. Mikawa, K. Akaishi, and T. Yokoyama: Studies on the Change of Tuberculin Reaction Repeatedly Tested at the Same Site of the Skin of a BCG Vaccinated Group of School Children, 4. The Difference of the Evaluation of Tuberculin Reaction by its Change of Characters between New and Repeated Sites., Acta Tub. Jap., 12 (2);46, 1963.
- 2) 小林裕：自然陽性とBCG陽性の鑑別について，治療，45 (6) : 1189, 1963
- 3) 小林裕：近年における小児ツベルクリン反応発現様相の変貌について，I 反応の促進および増強と色調の変化，結核，38(7) : 253, 1963
- 4) 小林裕：近年における小児ツベルクリン反応発現様相の変貌について，II 判定区分に及ぼす影響とその対策，結核，38(7) : 259, 1963
- 5) 小林裕：ツベルクリン反応自然陽転選出基準の再検討，小児科臨床，16 (7); 702, 昭38

第 2 部 内 科 学 第 2 （主任 教授 辻 周介）

〔学会報告並びに講演〕

- 1) Kimio Yasuhira: Pathogenesis of Nocardia and Tubercle Bacilli, Dept. of Bacteriology, Geosia University, U.S.A., 1962. 5.
- 2) Kimio Yasuhira: Intrapetraperitoneal Injection of Methylcholanthrene into Newborn Mice, Dept. of Medical Microbiology, Stanford University, U.S. A., 1962. 10.
- 3) 辻 周介，大島駿作，藤田 豊，岡田長保：人尿中の抗結核菌性ペプチッドについて，第42回日本抗生物質学術協議会関西支部会，昭38. 2.
- 4) 辻 周介，大島駿作，藤田 豊，岡田長保：健康人尿中の抗結核菌性物質に関する研究，第38回日本結核病学会総会，昭38. 4.
- 5) 辻周 介：第38回日本結核病学会からの話題，京都結核医会総会，昭38. 4.
- 6) Kimio Yasuhira & Fred G. Bock: Skin Tumor Promotion by Topical Application of Anthralin (1,8,9-Anthratriol), 54th Annual Meeting, The American Association for Cancer Research, Inc. U.S.A., 1963. 5.
- 7) 安藤協三，西岡 諄，日下芳郎，絹笠 晃，永井純太，伊東政敏：一見自然気胸を思わせる先天性巨大結腸症の一例，第27回日本結核病学会近畿地方会，昭30. 6.
- 8) 日置辰一郎，有馬弘毅，田中久勝，藤原清則，福岡謙助：再発を繰返す自然気胸の成因とその処置，

開胸例からの検討, 同上

- 9) 浜本武夫, 小原幸信, 永野琴子, 小児の特発性気管支拡張症について, 同上
- 10) 辻 周介, 日置辰一郎, 永野琴子, 福岡謙助: 著明な呼吸困難を主訴とした特異な気管支炎の2治験例, 同上.
- 11) 辻 周介: 肺癌の治療——当研究所における現況——, 第5回肺癌研究会関西支部会, 昭38. 7.
- 12) 泉 孝英, 辻 周介, 大島駿作: 感作家兎肺臓抽出液分画によるツベルクリンアレルギーの受身伝達実験について, 第11回結核化学研究グループ総会, 昭38. 10.
- 13) 辻 周介, 大島駿作, 藤田 豊: 健康人尿中の抗結核菌性物質について, 同上
- 14) 小原幸信, 泉 孝英: ザルコイドーシスの5例, 第28回日本結核病学会近畿地方会, 昭38. 12.
- 15) 大城盛夫, 北野久司, 山本 寿: 手術死に帰した Vanishing Lung の1例, 同上
- 16) 安平公夫: 病理解培学的にみた結核死 (シンポジウム, 結核死——特に細菌免疫学的問題に関連して——), 同上.
- 17) 安平公夫: Runtig Syndrome, 京大結研昭和38年度学術講演会, 昭和39. 1.
- 18) 辻 周介: ツベルクリン感受性の受身伝達に関する新知見, 同上.

〔誌 上 発 表〕

- 1) Shusuke Tsuji, Yukinobu Kobara, & Kotoko Nagano: Report of Accessory Lobe of Liver Complicated by Perforation of Diaphragm, Jap. J. Tbc., 10: 109, 1962.
- 2) Chisato Ueda, Tee Too Tao, & Yoshiko Kumashiro: Preliminary Experiments on the Use of "the Air-Tight Cultivation Method" in Determining Blood Levels of Drugs during the Chemotherapy of Tuberculosis, Acta Tuberc. Jap., 12: 43, 1963.
- 3) 辻 周介, 大島駿作, 藤田 豊, 岡田長保: 結核に対する生体の防衛力に関する研究〔第6報〕健康人尿中よりの抗結核菌性ペプタイド様物質の単離, 京結紀要, 11: 111, 昭38.
- 4) 山本 寿, 大城盛夫: 進行性両側性嚢胞性気腫 (Progressive Bilateral Bullous Emphysema = Vanishing Lung) の一治験例に就いて, 京結紀要, 11: 121, 昭38.
- 5) 辻 周介: 癌研究の2つの夢, 芝蘭, 71: 6, 昭38.
- 6) 笹瀬博次, 清瀬嘉治, 小原幸信: インフルエンザ A₂ 型の肺結核に及ぼす影響, 臨床内科小児科, 18: 917, 昭38.
- 7) 内藤益一, 清水明, 小林幹雄他: DHSMの耳鳴難聴防止についての方策, 日本胸部臨床, 22: 769, 昭38.
- 8) 小原幸信, 泉 孝英, 浜本武夫, 永野琴子, 大城盛夫, 福岡謙助: Biopsy により診断確定したザルコイドーシスの5例, 京結紀要, 12巻掲載予定.
- 9) Shusuke Tsuji: Mechanism of tuberculosis immunity with special reference to cellular factors, Acta Tub. Jap., 13 (2); 1963. 掲載予定

第 3 部 内 科 学 第 1 (主任 教授 内藤益一)

〔学会発表並びに講演〕

- 1) 津久間俊次: , 耐性検査成績に影響を及ぼす諸因子, 第38回日本結核病学会総会, 薬剤耐性検査法ラウンドテーブル, コンファレンス (昭38. 4. 4)
- 2) 内藤益一, 前川暢夫, 吉田敏郎, 津久間俊次, 大井 豊, 久世文幸, 田中健一, 蒲田廸子, 岩井嘉一, 柴田朝緒: 肺結核化学療法に於ける初回治療と再治療との強化, 同上 (昭38. 4. 4)
- 3) 内藤益一, 前川暢夫, 津久間俊次, 川合 満, 中井 準, 久世文幸, 小沢 晃; 1314 Th-S の抗結核作用について, 第27回日本結核病学会近畿地方会 (昭38. 6. 1)
- 4) 内藤益一, 津久間俊次, 岩井嘉一, 柴田朝緒: Ethambutol 及び Disoxyl の抗結核菌作用について,

同上 (昭38. 6. 1)

- 5) 前川暢夫：結核化学療法の現状，第22回日本結核病学会東海地方会特別講演 (昭38. 6. 9)
- 6) 吉田敏郎，清水 明，川合 満，池田宣昭，吉原宣方，田中健一，蒲田迪子： δ -Hydroxy- γ -oxo-norvaline (HON) の抗結核作用に関する研究，第11回日本化学療法総会 (昭38. 6.14)
- 7) 前川暢夫，津久間俊次，中西通泰，中井準，久世文幸，小沢晃，岩井嘉一，柴田朝緒：O-Aminophenol methansulfonate (SOM) に関する実験補遺，同上 (昭38. 6.14)
- 8) 内藤益一：化学療法今日と明日への展望「結核」，同上 教育講演 (3) (昭38. 6.15)
- 9) 内藤益一：結核の化学療法，第17回北陸医学会総会特別，講演 (昭38. 9.22)
- 10) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，中西通泰：肺癌の診断，第4回肺癌研究会総会 (昭38.10.18)
- 11) 内藤益一，津久間俊次，池田宣昭，中井準：結核化学療法における薬剤の毎日投与法と間歇投与法との比較に関する実験的研究 (第2報) 第3回日本胸部疾患学会総会 (昭38.10.22)
- 12) 内藤益一，前川暢夫，川合 満，中井準，池田宣昭：薬剤交互併用療法のモルモット実験的結核症における検討，同上 (昭38.10.22)
- 13) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，津久間俊次，川合 満，中井 準，久世文幸，小沢 晃：注射用 Na-PAS-Glucoside (PAS-G) に関する基礎実験知見補遺，第11回日本化学会中日本支部総会 (昭38.11.16)
- 14) 中井準，伊藤 篤，他：2-2' (Ethylenediimino)-di- 1-butanol (Ebutol) の眼に対する副作用の発生例について，同上 (昭38.11.16)
- 15) 津久間俊次，田中健一：各種抗結核剤の結核菌殺菌作用，同上 (昭38.11.16)
- 16) 内藤益一，吉田敏郎，柴田朝緒：DHSM の耳鳴難聴防止についての方策，第28回日本結核病学会近畿地方会 (昭38.12. 9)
- 17) 内藤益一，前川暢夫，蒲田迪子：TH の副作用の発生機転とその一防止策，同上 (昭38.12. 9)
- 18) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，津久間俊次，川合満，中井 準，久世文幸，田中健一：o-Aminophenol methansulfonate (SOM) に関する基礎的研究補遺 (続報)，同上 (昭38.12. 9)
- 19) 前川暢夫：今日の問題—浄化空洞，京大結核研究昭和38年度学術講演会 (昭39.1)

〔誌 上 発 表〕

- 1) 内藤益一：抗結核剤弾力併用療法，臨床と研究，40巻，2号 (昭83. 2)
- 2) 清水明：持続性サルファ剤の抗結核作用，特に INH との併用効果 (第3~4編)，京大結研紀要，11巻，2号 (昭38. 3)
- 3) Michiyasu Nakanishi: Individual Variations in the Serum Level of Antitubercular Agents and the Effect of their Long Term Administration on the Serum Level, Acta Tuberc. Jap., Vol. 12, No. 2 (March, 1963)
- 4) 内藤益一，津久間俊次，他：結核菌に対する化学療法剤の研究 (第15報)，4-Thienyl-3-buten-2-one 誘導体の合成並びに抗菌作用について，薬学雑誌，83巻，7号 (昭38. 7)
- 5) 池田宣昭：結核化学療法剤の毎日投与法と間歇投与法との効果比較に関する試験管内実験的研究 (第1~3編)，京大結研紀要，12号，1号 (昭38. 9)
- 6) 吉原宣方：現行結核菌耐性検査法に就いての吟味，京大結研紀要，12巻，1号 (昭38. 9)
- 7) Masukazu Naito: Chemotherapeutic Original and Re-Treatment of Pulmonary Tuberculosis, Acta Tuberc. Jap., Vol. 13, No.1 (Sep. 1963)
- 8) 内藤益一：化学療法 (結核) 最近の進歩，臨床と研究，40巻，12号 (昭38.12)
- 9) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，津久間俊次，久世文幸，田中健一：オルトアミノフェノール・メタンスルホン酸ソーダ (SOM) の抗結核作用についての基礎的実験，日本胸部臨床，23巻，1号 (昭39. 1)
- 10) 内藤益一，他：肺結核再化学療法におけるオルトアミノフェノール・メタンスルホン酸ソーダ (SOM) の臨床的価値，日本胸部臨床，23巻，2号 (昭39. 2)
- 11) 前川暢夫，小沢晃，他：肺結核患者の食欲に及ぼすガロゲン錠投与の経験，新薬と臨床，13巻，3号 (昭39.3)

第 4 部 外 科 学 (主任 教授 長石忠三)

[学 会 発 表]

[特別講演, シンポジウム他]

- 1) Chuzo Nagaishi: Electronmicroscopic Observation of Lung Cancer, ACCP 日本支部10周年記念特別講演 (昭38. 3)
- 2) 大道重夫他: 「肺癌と肺結核」肺癌と肺結核の合併例について, 第38回日本結核病学会総会, ラウンドテーブルコンファランス (昭38. 4.)
- 3) 寺松 孝: 「肺結核空洞の局所的療法」, 空洞切開術及び気管支遮断術を中心として, 第3回日本胸部疾患学会ラウンドテーブルコンファランス (昭38.10)
- 4) 長石忠三: 「空洞の局所的療法」, 第3回日本胸部疾患学会総会ラウンドテーブルコンファランス司会 (昭38.10)
- 5) 佐川弥之助: 「肺性心」肺結核における肺性心, 第16回日本循環学会近畿地方会, シンポジウム (昭38.11)
- 6) 長石忠三: 「肺性心」, 第16回日本循環器学会近畿地方シンポジウム司会 (昭38.11)
- 7) 長石忠三: 以空洞切開術を中心え肺結核切開排膿療法, 第56回台湾医学会特別講演 (昭38.11)

[一般講演]

- 1) 長石忠三, 長沢直幸他: 肺結核に対する骨膜外充填術, 日本結核病学会第38回総会 (昭38.4.3)
- 2) 船津武志他: 肺外科における術後管理法としての長期低体温麻酔の応用, 同上 (昭38. 4. 3)
- 3) 長沢直幸他: 肺結核の化学療法における, 経気管支注入療法の意義, 特に治療成績を中心として, 同上 (昭38. 4. 4)
- 4) 北野司久, 大道重夫, 池田貞雄, 源河圭一郎, 長沢直幸他: 結核腫を思わせた肺血管腫の1切除例, 第27回日本結核病学会近畿地方会 (昭38. 6. 1)
- 5) 加藤幹夫, 久野健志, 土肥佳郎, 甲斐隆義, 浅井信明: 肺外科領域における 閉塞性 呼吸障害の対策 同上 (昭38. 6. 1)
- 6) 日下芳郎, 伊東政敏他: 一見自然気腫を思わせた先天性巨大結腸症の1例, 同上 (昭38. 6. 1)
- 7) 金泰希他: 胸部外科の術後管理における硬膜外麻酔の応用, 第22回日本結核病学会東海地方会 (昭38. 6. 8)
- 8) 金泰希他: 空洞切開術と気管支結紮 (切断) 術との併用術式の検討, 同上 (昭38. 6. 8)
- 9) 山本博昭, 小林君美, 井上律子他: 空洞切開術の予後に関する検討, 同上 (昭38. 6. 8)
- 10) 加藤康夫, 人見滋樹: 第V因子減少性出血性素因を有する肺結核患者に対する気管支切断術の経験, 第6回日本胸部外科学会関西地方会 (昭38. 6.14)
- 11) 田中歳郎他: 先天性食道管癌の1治験例, 同上 (昭38. 6.14)
- 12) 金泰希, 吉田昇: 肺癌におけるメディアスチノスコープの経験, 同上 (昭38. 6.14)
- 13) 大道重夫: 我々の経験した肺腺腫症について, 第16回京都外科集談会 (昭38. 6.28)
- 14) 大道重夫, 池田貞雄他: 両側撒布性陰影を呈した肺腺腫症 (肺胞上皮細胞癌) の1例, 第5回肺癌研究会関西支部会 (昭38. 7.13)
- 15) 金在河他: 先天性総輸胆管拡張に合併した若年者脾臓癌の1例, 第18回京都外科集談会 (昭38.9.27)
- 16) 浅井信明, 吉田昇, 金在河: 肺癌に対するメディアスチノスコープの経験, 同上 (昭38. 9.27)
- 17) 岡田慶夫: アメリカにおける肺癌治療の一端, 同上 (昭38. 9.27)
- 18) 人見滋樹, 寺松孝, 加藤康夫: 大出血に伴う血清蛋白, 特にアルブミン細分割の変動について, 第18回京都外科集談会 (昭38. 9.27)
- 19) 池田貞雄, 岡田慶夫, 大道重夫, 源河圭一郎: Co⁶⁰ 照射後の肺癌切除の経験, 特に病理学的所見について, 第4回肺癌研究会総会 (昭38.10.81)

- 20) 長石忠三, 寺松孝, 日下芳郎, 木下修二郎他: 気管支遮断術と空洞切開術との複合術式を中心として, 第16回日本胸部外科学会総会 (昭38.10.22)
- 21) 金在河, 大道重夫, 池田貞雄, 甲斐隆義, 源河圭一郎, 北野司久: 肺癌に対する全身麻酔下術前検査法の体系化について, 同上 (昭38.10.22)
- 22) 寺松孝他: 肺結核に対する旧ツベルクリンと INH との併用療法について, 第3回日本胸部疾患学会総会 (昭38.10.22)
- 23) 船津武志, 立石昭三, 寺松孝他: 化学療法併用下における肺結核刺戟療法の再検討 (第7報), 同上 (昭38.10.22)
- 24) 中村健: 正常赤血球の酸素解離速度に及ぼす炭酸ガスの影響, 同上 (昭38.10.22)
- 25) 久野健志, 土肥佳郎, 田中歳郎, 浅井信明, 甲斐隆義: CO₂ ナルコーシスに対するレメフィリンの影響に関する実験的並びに臨床的研究, 同上 (昭38.10.23)
- 26) 寺松孝, 加藤康夫, 人見滋樹: 大出血に伴う血清蛋白, 特にアルブミン細分割の変動に就いて, 第7回日本輸血学会近畿支部総会 (昭38.11.30)
- 27) 吉田 昇, 浅井信明, 金在河: 手術例からみた縦隔鏡検査の成績, 第1回日本癌治療学会総会 (昭38.12.6)
- 28) 長石忠三, 岡田慶夫, 大道重夫, 池田貞雄, 北野司久, 源河圭一郎, 金在河: 肺癌の治療成績, 同上 (昭38.12.6)
- 29) 寺松孝, 船津武志, 永井彰: 重症肺結核外科的療法に関する最近の1.2の知見, 第28回日本結核病学会近畿地方会 (昭38.12.9)
- 30) 佐川弥之助, 土肥佳郎: 肺結核患者における気流速度曲線の研究 (第1報), 同上 (昭38.12.6)
- 31) 佐川弥之助: 肺気腫合併肺結核, 特に心肺機能を中心として, 京大結研昭和38年度講演会 (昭39.1.11)
- 32) 寺松孝, 吉田昇: 浄化空洞, 同上, 今日の問題 (昭39.1.11)
- 33) 永井彰, 木下修二郎, 立石昭三他: 当園における輸血後肝炎, (第1報) 当園と他施設との発生率についての比較的検討, 第1回胸部外科研究会 (昭38.2.22)
- 34) 寺松孝, 佐川弥之助, 永井純太, 安田俊吉: 肺結核に対する主気管支遮断術の経験, 同上 (昭38.2.22)
- 35) 大道重夫, 岡田慶夫, 池田貞雄, 北野司久, 源河圭一郎: X線的に撒布性陰影を呈した肺癌の症例, 同上 (昭38.2.22)
- 36) 源河圭一郎, 岡田慶夫: 切除された無気肺の形態学的観察, 同上 (昭38.2.22)

〔誌 上 発 表〕

〔著 書〕

- 1) Nagaishi, C.: Knipping, Rink, 監修 “Klinik der Lungenkrankheiten” (Dec. 1963) F.K. Schattauer Verlag, Stuttgart Deutschland, 分担執筆 “Die Struktur der Lunge”

〔離誌発表〕

- 1) 寺松 孝, 加藤幹夫: 重症肺結核, 殊に肺機能低下例に対する手術とその予後, 臨床と研究, 40巻, 2号 (昭38.2)
- 2) 長石忠三, 佐川弥之助他: 肺気腫合併肺結核, 胸部疾患研究の進歩, 肺気腫特集号 (昭38.3)
- 3) Chuzo Nagaishi: La cavernostomia en tuberculosis pulmonar, Archivos del Aparato Respiratorio y Circulatorio (Spain) Ano XXXV, Num. 336 (Marzo, 1963)
- 4) Chuzo Nagaishi: Die Tuberkulose in Japan, Verhandlungsbericht der Deutschen Tuberkulose-Tagung 1962, Beiträge zur Klinik der Tuberkulose, Heft 1, Bd., 127 (1963).
- 5) Chuzo Nagaishi: Die Kavernostomie, 同上 (1963).
- 6) 寺松孝他: 肺外科の現状と問題点, 日本胸部外科学会雑誌, 11巻, 6号 (昭38.6)
- 7) 長石忠三, 岡田慶夫, 石河重利, 大道重夫: 肺胞の電子顕微鏡的観察, 肺と心, 10巻2号 (昭38.6)

- 8) 宮本信昭他：肺アスペルギールス症3例の治療経験，京大結研紀要，12巻1号（昭38.9）
- 9) 大道重夫：ウレタン腹腔内注入によるマウスの実験的肺腫瘍の形態学的研究，同上（昭38.9）
- 10) 加藤康夫，人見滋樹他：パラ血友病患者における左主気管支切断術の経験（同上（昭38.9））
- 11) Takashi Teramatsu etc: Combined Treatment of Tuberculosis with Glycyrrhizin and INH, Acta Tuberc. Jap. Vol. 13, No. 1 (Sep. 1963)
- 12) 寺松 孝，加藤幹夫：肺臓外科の立場から（パネルフォーラム，胸部手術における心肺性危機への対策），胸部疾患，7巻，10号（38.10）
- 13) 寺松 孝，加藤幹夫他：同上討議 同上（昭38.10）
- 14) 長石忠三：日本医学会総会大気汚染に関するランチャンミーティングから，胸部疾患，7巻，10号（昭38.10）
- 15) Chuzo Nagaishi: Tuberkulozishelyzet Japánban, Tuberkulózis és Tüdőbetegsegek (Hungary) XVI Évfolyam (Okf. 1963)
- 16) Chuzo Nagaishi: A cavernostomia, Tuberkulózis és Tüdőbetegsegek (Hungary) XVI Évfolyam (Okt. 1963)
- 17) 佐川弥之助：呼吸困難の成因及び治療法——肺外科の立場，日本医事新報，No. 2066（昭38.11）
- 18) 寺松 孝，立石昭三他：肺結核に対する刺激療法の研究，国立結核療養共同研究年報，第3集（昭38）
- 19) Chuzo Nagaishi, Yoshio Okada et al: Electronmicroscopic Observation of the Healthy Lung, Experimental Medicine and Surgery (March, 1964) (U.S.A.)
- 20) 長石忠三，岡田慶夫，大道重夫，池田貞雄，北野司久，源河圭一郎，金在河：肺癌の電子顕微鏡的観察，胸部疾患近刊号（昭39）

第5部 病態生理学（主任 教授 辻 周介）

〔学 会 発 表〕

- 1) 辻 周介，大島駿作，藤田 豊，岡田長保：人尿中の抗結核菌性ペプチッドについて，第42回日本抗生物質学術協議会関西支部会（38.2）
- 2) 辻 周介，大島駿作，大城盛夫，泉孝英：家兎肺胞滲出細胞抽出液電気泳動分劃によるツベルクリンアレルギーの受身伝達について，第10回結核化学研究グループ総会（38.3）
- 3) 辻 周介，大島駿作，藤田 豊，岡田長保：健康人尿中の抗結核菌性法質に関する研究，第38回日本結核病学会総会（38.4）
- 4) 辻 周介：第38回日本結核病学会からの話題・京都結核医会総会（38.4）
- 5) 日置辰一朗他：再発を繰返す自発性気胸の成因とその処置，開胸例からの検討，第27回日本結核病学会近畿地方会（38.6）
- 6) 辻 周介，日置辰一朗，永野琴子，福間謙助：著明な呼吸困難を主訴とした特異な慢性気管支炎の2治験例，同上（38.6）
- 7) 西岡諄他：一見自然気腹を思わせる先天性巨大結腸症の1例，同上（38.6）
- 8) 泉 孝英，辻周介，大島駿作：感作家兎肺臓抽出液分劃によるツベルクリンアレルギーの受身伝達実験について，第11回結核化学研究グループ総会（38.10）
- 9) 辻 周介，大島駿作，藤田豊：健康人尿中の抗結核菌性物質について，同上（38.10）
- 10) 日置辰一朗：潜在性膿胸の経験，第3回京都市衛生局医学研究発表会（38.11）
- 11) 小原幸信，泉孝英：サルコイドーシスの3例，第28回日本結核病学会近畿地方会（38.12）
- 12) 大城盛夫，北野久司，山本 寿：手術死に帰した Vanishing Lung の1例，同上（38.12）
- 13) 中島道郎：家兎肺胞マクロファージに対する結核菌の毒性に関する研究，同上（38.12）
- 14) 辻周 介：結核死一特に細菌免疫学的問題に関連して（特別発言），同上（38.12）
- 15) 辻 周介：ツベルクリン感受性の受身伝達に関する新知見：京大結核 研究所昭和 38 年度学術講演会（39.1）

- 16) 日置辰一朗：今日の問題……浄化空洞，同上（39.1）

〔誌 上 発 表〕

- 1) Shusuke Tsuji, Yukinobu Kobara & Kotoko Nagano: Case Report of Accesory Lobe of Liver Complicated by Perforation of Diaphragm, Jap. J. Tbc., **10**, 109 (1962)
- 2) Chisato Ueda, Tee Too Tao & Yoshiko Kumashiro: Preliminary Experiments on the Use of "the Air-Tight Cultivation Method" in Determining Blood Levels of Drugs during the Chemotherapy of Tuberculosis, Acta Tuberc. Jap. **12**, 43 (1963)
- 3) 辻 周介, 大島駿作, 藤田豊, 岡田長保：結核に対する生体の防衛力に関する研究（第6報）健康人尿中よりの抗結核菌性ペプタイド様物質の単離，京結紀要，**11**, 111（昭38.）
- 4) 山本 寿, 大城盛夫：進行性両側性嚢胞性気腫（Progressive Bilateral Bullous Emphysema= Vanishing Lung）の一治験例に就いて，京結紀要，**11**, 121（昭38）
- 5) 辻 周介：癌研究の二つの夢，芝蘭，**71**, 6（1963）

第 6 部 病 理 学 （主任 教授 高松英雄）

〔学 会 発 表〕

- 1) 高松英雄, 伊藤満, 溝口喜久男, 大川欣一：蛋白質分解酵素の組織化学的新証明法（蛋白銀法）について 第52回日本病理学会（38.4.3）
- 2) 大川欣一, 引間啓祐, 水谷 昭：糖アルコール代謝の組織化学的研究 第52回日本病理学会総会（38.4.3）
- 3) 北村 彬：アゾ色素法によるアルカリ性フォスファターゼ反応におけるマグネシウム抑制の研究 第4回組織化学会総会（38.10.24）
- 4) 引間啓祐：脱水素酵素反応におけるテトラゾリウム法の特異性に関する組織化学的研究 第4回組織化学会総会（38.10.24）
- 5) 大川欣一, 熊沢 清, 永井隆男, 池田 嵩：ソルビトール脱水素酵素の組織化学的研究, 第4回組織化学会総会（38.10.24）
- 6) 高松英雄, 伊藤 満, 溝口喜久男, 池谷淳一：蛋白分解酵素の新組織化学的証明法：蛋白銀法について, 第4回組織化学会総会（38.10.24）
- 7) 高松英雄, 竹沢正和, 富永敏郎：ペプチダーゼの組織化学的証明に関する新しい研究, 第4回組織化学会総会（38.10.24）
- 8) 大川欣一, 進藤備昌, 稲本康彦：コレステロールエステラーゼの組織化学的研究 第4回組織化学会総会（38, 10, 24）
- 9) 岡田 彰：シアニン色素によるメタクロマジアの研究（続報） 第4回組織化学会総会（38.10.24）
- 10) 熊沢清：腫瘍組織の蛋白分解酵素の組織化学的研究 第4回組織化学会総会（38.10.24）

〔雑 誌 発 表〕

- 1) 大川欣一, 引間啓祐, 水谷 昭：糖アルコール代謝の組織化学的研究, 日病会誌, 52巻, 総会号（1963）
- 2) 高松英雄, 伊藤 満, 溝口喜久男, 大川欣一：蛋白質分解酵素の組織化学的新証明法（蛋白銀法）について 日病会誌, 52巻総会号（1963）
- 3) K. Hikima and A. Mizutani: Histochemical studies on dehydrogenases in free cells: Effects of fixation procedure on enzymatic activity. Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 3（1962）
- 4) A. Mizutani and T. Shindo: Enzyme histochemistry of aorta, Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol.3（1962）.

- 5) A. Okada: Studies on the metachromasia with cyanine dyes (II) Proc. Jap. Histochem. Ass. Vol.3 (1962).
- 6) H. Takamatsu, K. Ohkawa, K. Kumazawa and T. Nagai, Histochemical studies of esterase-groups. Proc. Jap. Histochemical. Ass., Vol.3 (1962)
- 7) K. Okkawa, K. Kumazawa and T. Nagai. Histochemical study on the metabolism of D-sorbitol in starved rats. Acta Tuberc. Jap. Vol. 13, No. 1 (1963)

第 7 部 細菌血清学 (主任 教授 植田三郎)

〔学 会 発 表〕

- 1) 植田三郎, 上坂一郎: N.M. McClung ノカルディアの病原性, 毒力に関する二, 三の所見, 第15回 国立大学付置研究所, 結核談話会 (金沢大) 昭38.5.26
- 2) 上坂一郎: 結核類似肺疾患の病因としての *Nocardia astecoides* の意義. その培養証明の困難, 昭和38年度結核研究所学術講演会 (昭和39.1.11)

〔雜 誌 発 表〕

N.M. Mc Clung: *Nocardia* and *Nocardiosis*, ACTA TUBERCULOSEA JAPONICA Vol. 13. No. 1.p. 1-13, 1963.

人 事 異 動

〔第1部〕

副手 福井 齊・立石恭子: 任用を更新する (昭38.4.1)

〔第2部〕

講師 (非常勤) 西岡 諄: 任期満了 (昭38.3.31) 再 び採用 (昭38.4.1)

副手 小松幹雄・上田千里・市田新路・田中久勝・浜本武夫・福間謙助: 任用を更新する (昭38.4.1)

〔第3部〕

講師 (非常勤) 大井豊: 任用を更新する (昭38.4.1)

副手 中西通泰・松島留蔵・川合 満・清水 明・井本伍平・東向一郎・小沢 晃: 任用を更新する (昭38.4.1)

介補 柴田朝緒: 任用を更新する (昭38.4.1)

介補 蒲田迪子: 退職 (昭38.4.1) 再び副手に採用 (昭38.4.1)

池田宣昭: 副手に採用 (昭38.4.1)

雑賀宣二郎: 副手に採用 (昭38.7.16)

〔第4部〕

教授 長石忠三: 沖縄及び中華民国へ出張 (昭38.11.11~昭38.11.28)

講師 (非常勤) 長沢直幸・日下芳郎: 任用を更新する (昭38.4.1)

吉田 昇・小林君美: 講師 (非常勤) に併任する (昭38.4.1)

講師 (非常勤) 依田篤信: 退職 (昭38.4.1)

大学院学生: 加藤康夫・源河圭一郎・田苗英次 (昭38.4.1)

副手 加藤幹夫・山崎 昇・大道重夫・久野健志・永井 彰・岩田 明・土肥佳郎・田中歳郎・池田貞雄
・人見滋樹・伊東政敏・甲斐隆義・北野司久: 任用を更新する (昭38.4.1)

木下修二郎・立石昭三・山本博昭・浅井信明・船津武志・菅原精博: 副手に併任する (昭38.4.1)

山本四郎・宮本信明: 副手に採用 (昭38.4.1)

小野 孝: 副手に採用 (昭38.6.16) 研修期間修了: 金在河 (昭39.1.31)

副手 加藤幹夫：退職（昭38.7.15）
中村 健：講師（非常勤）に採用（昭38.8.16）
安田俊吉：副手に採用（昭38.11.16）
井上律子：研修許可（昭38.8.1～39.7.31）
金 泰希：〃 （昭38.6.20～39.6.19）
浜崎喜則，紺谷日出雄：〃 （昭和39.2.1～40.1.31）
金 在河：研究員（昭39.2.1）

〔第5部〕

講師（非常勤）渡辺熙：任期満了（昭38.3.31）再び採用（昭38.4.1）
講師（非常勤）並河 靖・日置辰一郎：任用を更新する（昭38.4.1）
副手 熊代朗子・浅田高明・小林辰雄・儀間義威：任用を更新する（昭38.4.1）
助手 川田典徳：辞職を承認する（昭38.6.30）
助手 岡田長保：アメリカ合衆国へ出張（昭38.8.27～昭39.9.3）
中島道郎：副手に採用する（昭38.11.1）

〔第6部〕

講師 水谷 昭：アメリカ合衆国へ出張（昭38.9.10～昭39.9.9）
講師（非常勤）峰下鉄雄：任用を更新する（昭38.4.1）
介補 熊沢 清・池田 嵩：退職（昭38.4.1）
熊沢 清：副手に採用（昭38.4.1）
副手 進藤備昌・富永敏郎・北村 彬・溝口喜久男・竹沢正和・永井隆男・岡田 彰・池谷淳一・任用を
更新（昭38.4.1）
池田 嵩：副手に採用（昭38.6.1）
稲本康彦：副手に採用（昭38.7.1）

〔第7部〕

副手 伊藤義昭・大平 実：任用を更新する（昭38.4.1）
副手 神田桂子：退職（昭38.3.31）
土井和雄：副手に採用（昭38.4.1）

〔併 任〕

医学部 教授 近藤鋭矢：停年退官（昭38.5.16）
〃 教授 西尾雅七：結核研究所に併任する（昭39.1.16）

〔事務部〕

牧 義彦：結研庶務掛長に配置換する（昭38.8.1）
庶務掛長 尾上代蔵：医学部附属病院人事掛長に配置換する（昭38.8.1）
蔭山寅一：結研経理掛長に配置換する（昭38.5.1）
経理掛長 西村利雄：医学部経理掛長に配置換する（昭38.5.1）
事務官 佐竹貞雄：農学部配置換する（昭38.11.16）
事務員 岡野福子：文部事務官に任官（昭38.10.1）

〔診療部〕

総婦長 清水スエヲ：死亡（昭39.1.24）
技術員 法性イヨ：文部技官に任官（昭38.4.1）
技術員 広橋俊子：文部技官に任官（昭38.7.1）
山田さだ子：文部技官に採用する（昭38.6.1）
文部技官 松室美代子：国立刀根山病院へ出向（昭38.4.1）
松宮なを子：文部技官に採用する（昭39.1.1）
文部技官 馬場トキエ：退職（昭39.1.31）

結核研究所行事

◇昭和38年度結核研究所学術講演会 (昭39.1.11)

〔講演〕

- 1) 津久間俊次：結核化学療法強化における薬剤投与法に関する試験管内実験
- 2) 小林 裕：精製ツベルクリン PPD-S の使用について
- 3) 引間啓祐：脱水素酵素の組織化学特にその特異性について
- 4) 安平公夫：Runting Syndrome
- 5) 佐川弥之助：肺気腫合併肺結核，特に心肺機能を中心として
- 6) 上坂一郎：結核類似肺疾患の病因としての *Nocardia asteroides* の意義，その培養証明の困難
- 7) 辻 周介：ツベルクリン感受性の受身伝達に関する新知見

〔討議〕

「今日の問題……浄化空洞」司会 辻 周介 話題提供 寺松孝，前川暢夫，日置辰一郎，小原幸信，吉田昇

◇結核研究所総合談話会

96回 38. 5.16

1. マウスのウィルス性白血病について ウィルス研究所 市川 康夫
2. 東南アジア見たまま聞いたまま 寺松 孝 (外科療法部)

97回 38. 9.26

1. アメリカの研究室 安平 公夫 (理学的診療学部)
佐川弥之助 (外科療法部)
岡田 慶夫 (外科療法部)

98回 39.2.20.

1. 脊椎カリエスの診断と治療に関して 整形外科 小野村敏信
2. 泌尿性器結核の最近の動向 泌尿器科 酒徳治三郎